

蘭越町山内らとの面談記録

通話日：2024(R6)年8月30日

[野村]

でもね、行政のね、担当者というのはね、説明責任ってあんじゃないですか？法律とは別にね・

[山内]

だから、この席、作って、時間をとって、相手してやって・・・

[野村]

違う。僕が言ってるのは、あなたは、裁判所が、シロ／クロを判断して、シロになれば、俺はシロと言わんばかりの、昔の安倍さんが、殺される前に、加計問題のときに、「私がクロだと思うんだったら、クロという証拠を持ってこい」と、あたかも、裁判所が判断しなければ、自分はシロだと。説明責任を排除して。何も説明しないで、「裁判所さえ判断しなかったら、自分は無罪だ」と言わんばかりのことを、明言してましたよ。あなたと同じように。

でもね、じゃあ説明責任って何ですか？説明責任って。裁判は手間暇かかる、時間がかかるから、そんな面倒な手続きを取らなくても、権力があるものは、自ら自発的に、説明すると、都合のいいこと悪いことも、それが説明責任じゃないんですか？

[山内]

だから今してるじゃないですか？

[野村]

でも、あなたが言ってることは、僕が証拠を出してるにも関わらず、「あなたが思いたくないから、そうなるんでしょう？」という、何の根拠もない決め付けを行ってるんでしょう？この場で。

[山内]

本当のこと言ってるでしょ？だって・・・

[野村]

本当のことっていうのは、あなたが言ってる。

[山内]

したら、また警察署呼ぶかい？

[野村]

呼べばいいよ、勝手に。

[山内]

じゃ呼びますよ。

[野村]

どうぞ。あなたが呼ぶのを僕が止める権利はないから。